

会議の概要(議事録)

会議の名称	(番号) 3-08	平成24年度第10回すみだ環境共創区民会議		
開催日時	平成25年1月17日(木) 18時30分から20時00分まで			
開催場所	墨田区役所3階 31会議室			
出席者数	【委員12人】 阿久沢委員 伊藤委員 宇田川副会長 小池委員 小木曾会長 島崎委員 清水委員 中島委員 永岡委員 野島委員 森下副会長 柳委員 【事務局3人】 環境保全課長、環境管理担当主査及び職員			
会議の公開 (傍聴)	公開(傍聴できる)	傍聴者数	0名	
議 題	1 すみだ環境共創区民会議の2年間のまとめと反省について 2 その他			
配付資料				
会議概要	1. すみだ環境共創区民会議の2年間のまとめと反省について (1) グループ討議について 事務局からグループ討議の進め方(リーダー等役割分担の決定、議題の決定等)等について、説明した。討議時間は50分。まず、テーマを決めて討議する。発表については、模造紙にタイトル、問題、提案(解決策)は最低限記入をすること。その他、記入できないことは、説明で補うこと。(各班5分)発表後、質疑応答の時間を取る。(各班5分) A班 伊藤委員、清水委員、野島委員 B班 永岡委員、小池委員、中島委員、島崎委員 C班 柳委員、阿久沢委員、宇田川委員、森下委員 <div style="text-align: right;">(:リーダー)</div> (2) 発表 C班 「墨田の緑を豊かにしたい」(委員) 【主な内容】 墨田区の緑を豊かにするには、どうすればよいのか。墨田区の緑化率を上げたい。現状は、緑を増やす敷地もなく、美観も悪い。「まちなか緑化」や路地裏園芸等により、花を増やしているが、緑は増えていない。「花と緑のサポーター」、「壁面緑化」及び「緑のカーテン」など行政だのみになっている。原因は区民の意識が足りないこと。そのためには、啓発や子供の時期からの教育が必要となる。啓発事業の現状としては、苗の無料配布、緑のカーテン・ゴーヤの育て方等の講習会等を行っている。緑を増やす施策として、土地のない墨田区において有効策としては、助成制度のある屋上緑化を推進することだと思う。しかし、子供の教			

育については、土に触れ、体を動かしながら体験できる原っぱや森があると良い。是非、このことを提案したい。

B班 「緑化について」(委員)

【主な内容】

B班も「緑化について」話し合いましたが、話が途中で終わってしまいました。墨田区の緑化の現状は芳しくありません。墨田区の緑被率はどうなのか。区として緑被率をどうするのか。区は土地を購入してでも緑を植えるべきではないか。個人の意識はどうなのか。自宅でどれだけ緑を増やすことを考えているのか。公園については、緑の貧弱な公園が多い。生物多様性を考えたバランスのとれた公園作りが行われているのか。蝶やトンボやカブトムシが来る木を植えているのか。街路樹については、まったくダメ。選定はどうなっているのか。冬は木も丸裸になっている。冬の緑被率は半分以下になってしまう。先程、路地裏園芸の話がでしたが、ルール違反がある。阪神淡路大震災を思い起こせば、植木鉢等を置くにしても車椅子の邪魔にならないよう、一定のルールはある。苗の無料配布について、追跡調査をしてはどうか。沢山の苗を配布しているが、ペランダ等の緑化に顕著な効果が見られない感じがする。墨田区は緑に関して貧弱なまちと感ずるので、緑がほしいと思います。

A班 スカイツリーを活用した情報発信！「環境区宣言を広く周知する」
(委員)

【主な内容】

A班は、スカイツリーを活用した情報発信！「環境区宣言を広く周知する」に決めました。

環境キャラクター「地球くん」の露出も徐々に増えてきましたが、区民にはまだ浸透していない。昨年、すみだまつりに区民会議としてブースを出して、地球くんを使って環境区宣言をPRしました。これを続けていくことが重要です。また、環境区宣言のPRだけではなく、スカイツリーの取り組みとリンクさせて、区民が取り組む具体的な活動を示して周知することが重要だと思います。今後、環境フェアやすみだまつりに区民会議としてブースを出展し、環境区宣言等をPRしていきたいと思います。

(3) 質疑応答

3つの班の発表を繋げると、来年度の区民会議の活動が見えてくるのではないかと思った。区民会議は区民の代表であり、区民を巻き込んで具体的な活動をして、区民に周知していかなければいけない。スカイツリーから眺めると、墨田区は緑が少ないと言う話もあったが、昨年、鐘ヶ淵中学校の跡地を「墨田の森」にする提案をしたが、実現されなかった。東京電力の変電所には子供が遊ぶ森や原っぱがある。なぜ、墨田区にも造らなかったのか、痛切に感じた。

本日はグループ討議ということで、環境に関する考え方が違う中、グループの意見をまとめていただきありがとうございます。緑を豊かにしたい・緑化につい

	<p>てということで、B班・C班から発表がありました。お互いに緑に対する意識啓発が大事ということがありました。これは、共通の考えだと分かりました。</p> <p>また、B班から生物多様性を意識した緑化という話がありました。墨田区は大きな用地がないことから、簡単に解決できる案件ではないと考えております。C班からは屋上緑化の推進と言う話がありました。スカイツリーから見ると墨田区は緑が少ないと私も感じました。屋上緑化が進めば、スカイツリーに来た観光客の方にも、意外と屋上緑化が進んでいるなと感じてもらえると思います。A班からは環境区宣言の周知について発表がありました。環境区宣言が少しずつでも区民の生活に取り入れられる工夫が必要と強く感じました。</p> <p>いずれにしても、環境とは、意識啓発が大切であると感じています。区民がいかに取り組んでいくか、どう行動に結びつけいくかが重要だと考えています。</p> <p>環境問題はフィールドが広すぎる。取っ掛かりに時間がかかる。テーマを絞る必要があるのではないかと思った。</p> <p>2. その他、情報提供等</p> <p>(1) スマートシティ構築の歩み(第6回東京都民環境セミナー)(委員)</p> <p>(2) すみだ環境共創区民会議活動報告書の原稿依頼について 会長から活動報告書に掲載する委員の原稿について説明があった。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・テーマ 私の活動のまとめ ・文字数 600字程度 ・締め切り 2月21日まで <p>(3) 委員継続意向調査について 事務局から新任期(25・26年度)の委員継続について、意向調査票の提出の依頼があった。 (提出締め切り:2月21日)</p> <p>また、新規委員の募集について、区のお知らせ(2月1日号)の掲載について説明があった。</p> <p>3. 次回の検討事項について 会長より、次回は活動報告書の作成について話し合いを行うことが説明された。</p>
所 管 課	区民活動推進部 環境担当 環境保全課 環境管理担当 内線 5463